

日本バウハウス協会  
講演 (オンライン)  
2023年8月23日 (水)  
19:00-20:30



# 高安 啓介

## 社会デザインの歴史 におけるバウハウスの位置

社会デザイン (ソーシャルデザイン) は、利益をあげるよりも社会問題の解決を優先するデザインとして理解されてきました。社会デザインの自覚が高まるのは、20世紀後半から商業デザインの負の側面が目立つにつれて、デザイナーの社会責任が問われてからだと考えられますが、社会デザインの歴史は、工業化にともなって貧困問題が無視できなくなった19世紀まで遡ることができるでしょう。本講演では、現在にいたるまでの社会デザインの歴史をとらえて、そのなかでバウハウスがどう位置づけられるのかを考えます。

モノだけでは社会問題の解決はできないと思われるようになった現代において、バウハウスに代表される近代デザインの意味をいまいちど問い直しつつ、新しいデザイン史への展望について論じます。

講師 高安啓介 (たかやす けいすけ)

大阪大学大学院人文学研究科教授。大阪大学大学院文学研究科博士課程修了。博士 (文学)。  
意匠学会会長。

専門は、美学およびデザイン思想史。

著書『近代デザインの美学』(みすず書房)。現在の研究関心は、社会デザインの歴史、社会デザインにまつわる諸問題、現代社会のデザイン倫理、日常性の美学など。

主催 日本バウハウス協会 (お問い合わせ) <http://nipponbauhaus.jp>  
講演は無料 (オンライン)

講演申し込みは2次元コードまたは下記 URL  
[https://zoom.us/webinar/register/WN\\_l45ofDx\\_Rhy9Xv9g9hbdaQ](https://zoom.us/webinar/register/WN_l45ofDx_Rhy9Xv9g9hbdaQ)

